



「超我の奉仕」

2005-2006 年度国際ローターのテーマ

RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

第 2640 地区ガバナー 平尾寧章



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1415 回例会 17 年 9 月 26 日(月)

於 海南商工会議所 4 F 12:30～

和歌山西 R C 10 月 19 日(水)→10 月 19 日(水)
18:00～ ラヴィーナ和歌山

1. 開会点鐘 会長 塩崎博司
2. ローターソング 「それこそロータリー」
3. 出席報告
会員総数 69 名 出席者数 53 名 出席免除会員 2 名
出席率 79.10% 前回修正出席率 83.58%

4. 会長スピーチ 会長 塩崎博司



皆様今日は、暑さ寒さも彼岸までと云われますが、今年の夏の暑さもやっとおさまりそうです。

3日、国際奉仕 深谷さん、10日、ロータリー財団 中尾さん、17日、青少年交換

西川さん、18日、米山記念奨学会 田村さん、ご多忙中それぞれ委員長会議出席ご苦労さんでございました。それぞれの委員会報告宜しくお願い致します。

アメリカ南部をおそったハリケーン、リタ今回は大きな被害もなくすんだようで安心致しましたが、前回のカトリーナーの被害について地区からの見舞いの要請が来ておりますので、理事会に諮りましたところ承認されました。何かと出費のかさむ折りですが、ご協力の程お願い申し上げます。

本日の卓話は前回に続き、企画、講演、イベント関係担当の小椋さん、広報、記録関係担当の寺下さん、会場案内関係担当の岩井さん、大会関係行事の宮田貞三さん、記念ゴルフ大会の大沢さんの5人にして頂きます。宜しくご静聴お願い致します。

5. 幹事報告

- メーキャップ
 - ・和歌山 R C 花畑重靖君 9/13
 - ・和歌山東南 R C 中村雅行君 9/21
- 例会臨時変更
和歌山南 R C 10 月 14 日(金)→10 月 14 日(金)
18:30～ ウェルサンピア和歌山
(和歌山城南 R C との合同例会)
ガバナー公式訪問

6. 委員長報告

- 青少年交換委員会 山名正一 委員長
会員選考会に出席しました。

7. 会員卓話

地区大会各会長報告

8. 次回例会

第 1416 回例会 平成 17 年 10 月 3 日(月)
18:30～ 海南商工会議所 4 F

*** ニコニコ・BOX ***

- | | |
|--------|--------------------|
| 花畑重靖君 | 海南文化協会(文)在中。 |
| 辻 秀輝君 | うれしいことが「3つ」ありました。 |
| 上芝良造君 | 猟犬コンクールに参加。優勝しました。 |
| 林 孝次郎君 | 留学生の家族一同(10名)宿泊。 |
| 木地義和君 | 孫が岡田先生にお世話になりました。 |
| 塩崎博司君 | 孫が家に来てくれました。 |



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

インドネシアのロータリアン、子供 2,400 万人のポリオ防疫支援

インドネシアで 8 月 30 日と 31 日に実施された国内統一防疫日(NID s)で、約 2,400 万の子供に経口ポリオ ワクチンが投与されました。目標にした子供達に接する為に 75 万を越す保健関係者とボランティアが戸別訪問と、国内の 6,000 余の島嶼に設けられたワクチン投与所に配置されました。

”全部で 32 州の中の 15 州で 2,000 人を越すロータリアンが NID s に参加しました”と 1,002 のロータリークラブを含む D3400 のリテイエリアテナ(Ritije Rihatinah)直前・地区ガバナーでインドネシアのポリオプラス委員会委員長が述べ、”各クラブは 20 の防疫所を管理し、ロータリアンとボランティアには T

四つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深められるか
- ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：塩崎博司 幹事：木地義和 SAA：山畑弥生

シャツを、子供には風船を渡し、子供の集合を助け、WHO が特別に企画した調査に協力しました”と語りました。インドネシアで実施されたものとしては、最大規模の、このキャンペーンは、2005年3月に西部ジャワで20ヶ月の子供が、ポリオに罹り、その拡大を阻止する為のものです。ポリオ ウイルスは其の後にバンテン (Banten)、中部ジャワ、ジャカルタ、ラムパング (Lampung)、西ジャワへ拡がり、過去10年間、ポリオの無かったインドネシアに衝撃を与えました。他の全地域への伝染を防ぐ為に、このNIDsには隣国の香港、マレーシア、シンガポールとタイ国からロータリアンが参加しました。WHO の研究所で病理学的にポリオ菌の発生源を調査したところ、ナイジェリアで2003年に発生してアフリカと中近東の19ヶ国に拡がったポリオと同一である事が判りました。現在、ポリオの無い、他のアジア 太平洋地域にポリオ菌侵入の危険防止の為に、世界ポリオ撲滅イニシアティブが財政と技術の両面からインドネシアでの防疫拡大を支援しており、インドネシア政府はポリオ再発防止とウイルスの国際的拡散阻止の努力を約束しました。ポリオ撲滅イニシアティブの先駆者で重要メンバーである国際ロータリーは人口2億4,000万を越すインドネシアでのこの非常事態に対処する為に米貨25万\$を拠出しました。リアティナ PDGによると”地元のロータリアンは、今度の防疫作戦で、対象になる子供の95パーセント以上の参加を目標にしてをり、若しも目標を100パーセント達成出来れば、我々の緊急対策でポリオウイルスが他のアジア諸国へ伝染する可能性を非常に低くすると思います”と語りました。”全部の子供に連絡するのは大変な事で、連絡には多大の努力が必要で、両親の説得も重要です”とユニセフのアランコート (Alan Court) 補給部長が語り、”インドネシアの子供を保護し、地域の子供を保護するのが、ポリオの無い世界実現への道です”と付け加えました。ポリオの無い数カ国で、ポリオが再発しましたが、世界のポリオ菌保有国は次の6ヶ国です。アフリカのエジプト、ニジェール、ナイジェリア、南アジアのアフガニスタン、インド、パキスタンです。

9100 地区がニジェールの飢餓

”ファヤラ (Fajara) ロータリークラブの名誉会員でもある、ガムビアのヤヤジャマー (Yahya Jammeh) 大統領がニジェールへの飢餓救済支援の呼び掛けに応じて1,000トンの米を寄付しました”とD9100のニコラスマンカス委員長が報じ、”この地区には、ガンビアとニジェールを含む14の国があり、これは大きな支援であると同時に、ロータリーがニジェール飢饉救済努力の一部である事を示します”と語りました。

マンカス委員長によると、ドイツのロータリークラブからが協同で、12,000\$有余の救援金を送っており、イギリスのクラブからも、ニジェール危機委員会へ1,700\$の送金がありました。

更に、国連人口基金から、食糧、保健用品、医薬品、

特殊防蚊網等の購入用にと、25,000\$が贈与されました。国連発行の2005年度、人的開発年次報告書によると、ニジェールは、世界の177ヶ国の中で、最も貧しい国で、種々な点で最下位に在り、国民の平均寿命は46才です。支援に関する追加情報はRIのウェブ、WCSを御覧下さい。

アフリカで3,400万人を対象にポリオ防疫



世界ポリオ撲滅イニシアティブが一度はポリオを駆逐した地域へポリオ菌の再侵入阻止の為に9月と10月に東アフリカ全土で大規模な防疫作戦を実施すると発表しました。7月末にソマリアで17ヶ月の子供のポリオ罹病が確認された事がきっかけになり、8ヶ国の3,400万を越す子供達を対象にして行う事になりました。固定した行政機構も存在せず、中央政府も動いていないソマリアで、ポリオ撲滅は特別優秀な例として報ぜられておりましたが、中央政府不在がポリオ発生の原因なようです。

”ソマリアのような国では、子供達に接触することは困難です。理由は色々あり、治安が悪い事、人口の移動、弱い防疫態勢、等々が危険を増大します”とWHOのスポークスマン、オリヴァー・ローゼンバウアー (Oliver Rosenbauer) 氏がAPの記者に語りました。

WHOの世界ポリオ撲滅計画連絡官のブルース・アイルワード (Bruce Aylward) 氏が新聞記者に”東北アフリカ地域での防疫キャンペーンは、当初に考えていたよりも急を要する事態です”語りました。

グローバルポリオ撲滅イニシアティブを推進している所属団体は9月13日の新聞発表で、”紅海を渡ってエチオピアとイエーメンに伝染したのがソマリアに侵入する恐れが在るので、拡大防疫体制を樹立した”と発表しました。

この発表によれば、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団 (Bill and Melinda Gates Foundation) とEUを含む他の寄付者が今度の防疫用資金への大口寄付者です。国際ロータリーは東アフリカとイエーメンの防疫活動を継続して支援します。コンゴ民主共和国、ジブチ (Djibouti)、エリトリア (Eritrea)、エチオピア、ケニア、ソマリア、スーダン、イエーメンが今度の防疫キャンペーンの対象になっております。